

第137回 日商簿記検定試験 1級 -工業簿記- 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保证するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 原価計算基準 前文抜粋

原価計算基準を参考にしてください。

第2問 工程別組別実際総合原価計算

ポイント 投入原価の算定及び製造原価の算定を正しく行えるか。

問1 仕掛品勘定の作成

本問は、工程別の組別総合原価計算であるが、勘定は1つだけしか設けられていないため、各製品や各工程のデータを勘定では1つにまとめることに留意する。

1. 投入原価の算定

(1) 第1工程

①直接材料費

払出単価の計算は先入先出法によるため、月初有高から先に消費したものと考える。したがって、月末有高は当月仕入高からのみ生ずるものと仮定する。

a. 材料A

- ・月初有高 2,047円/個×100個=204,700円
- ・当月仕入高 2,050円/個×1,000個=2,050,000円

204,700円	月初有高	100個	当月消費高	2,090,700円
	当月仕入高	1,020個		
2,050,000円	1,000個	80個	月末有高	164,000円
<u>2,254,700円</u>			<u>2,254,700円</u>	

- ・月末有高 2,050円/個×80個=164,000円
- ・当月投入原価 204,700円+2,050円/個×920個=2,090,700円

b. 材料B…材料Aと同様に算定するため、計算式は省略する。

292,600円	月初有高	200個	当月消費高	1,863,400円
	当月仕入高	1,220個		
1,848,000円	1,200個	180個	月末有高	277,200円
<u>2,140,600円</u>			<u>2,140,600円</u>	

c. 仕掛品勘定の直接材料費

2,090,700円+1,863,400円=3,954,100円

②加工費

加工費は直接作業時間を配賦基準としているため、正常配賦率に直接作業時間を乗じたものが当月投入原価となる。

a. 製品A

投入原価 7,070円/時間×1,050時間=7,423,500円

b. 製品B

投入原価 7,070円/時間×1,815時間=12,832,050円

(2) 第2工程

①加工費

a. 製品A

投入原価 6,060円/時間×1,016時間=6,156,960円

b. 製品B

投入原価 6,060円/時間×1,220時間=7,393,200円

(3) 仕掛品勘定の加工費

7,423,500円+12,832,050円+6,156,960円+7,393,200円=33,805,710円

2. 製品製造原価の算定

(1) 製品A

材料の投入から製品の完成までの流れをBOX図(製造原価算定のための図)で表すと下記ようになる。

第1工程		第1工程完成品在庫		第2工程	
当月投入	当月完了品	月初有高	当月投入	当月投入	当月完成品
1,020個	1,010個	20個	1,014個	1,014個	1,010個
	仕損品	1,010個			月末有高
	10個		16個		4個

このBOX図からもわかるとおり、工程内で在庫は存在しない。また、仕損品の仕損費はすべて完成品が負担するため、各工程に投入された原価はすべて、完成(完了)品原価となる。したがって、按分計算が必要になるのは、第1工程完成品の第2工程当月投入原価の算定のみである。

①第1工程

直接材料費	当月投入	当月完了品	
2,090,700円	1,020個	1,010個	9,514,200円
加工費		仕損品	10個
7,423,500円			
<u>9,514,200円</u>			<u>9,514,200円</u>

②第1工程完成品在庫…払出単価の計算は先入先出法による。

191,120円	月初有高	20個	当月投入	9,554,600円
	当月完了品	1,014個		
9,514,200円	1,010個	16個	月末有高	150,720円
<u>9,705,320円</u>			<u>9,705,320円</u>	

- a. 当月完了品単価 9,514,200円 ÷ 1,010個 = 9,420円/個
- b. 月末有高 9,420円/個 × 16個 = 150,720円
- c. 第2工程前工程費当月投入原価 191,120円 + 9,420円/個 × 994個 = 9,554,600円

③第2工程

		第2工程		
前工程費	当月投入	当月完成品		
9,554,600円	1,014個	1,010個	15,711,560円	
加工費 6,156,960円		仕損品 4個	→計算しない	
15,711,560円			15,711,560円	

(2)製品B

第1工程		第1工程完成品在庫		第2工程	
当月投入	当月完了品	月初有高	当月投入	当月投入	当月完成品
1,220個	1,210個	16個	1,216個	1,216個	1,212個
	仕損品 10個	当月完了品 1,210個			

※製品A同様の計算となるため、計算式は省略する。

①第1工程

		第1工程		
直接材料費	当月投入	当月完了品		
1,863,400円	1,220個	1,210個	14,695,450円	
加工費 12,832,050円		仕損品 10個	→計算しない	
14,695,450円			14,695,450円	

②第1工程完成品在庫

		第1工程完成品在庫		
	月初有高	当月投入		
197,856円	16個	1,216個	14,771,856円	
	当月完了品		月末有高	
14,695,450円	1,210個	10個	121,450円	
14,893,306円			14,893,306円	

③第2工程

		第2工程		
前工程費	当月投入	当月完成品		
14,771,856円	1,216個	1,212個	22,165,056円	
加工費 7,393,200円		仕損品 4個	→計算しない	
22,165,056円			22,165,056円	

(3)仕掛品勘定の各金額

- ①月初仕掛品 191,120円 + 197,856円 = 388,976円
- ②月末仕掛品 150,720円 + 121,450円 = 272,170円
- ③製 品 15,711,560円 + 22,165,056円 = 37,876,616円

問2 売上総利益の算定

問1で算定した製品製造原価を参考に製品のBOX図を作成し、当月売上原価を算定する。

1. 当月売上高

- (1)製品A 28,000円/個 × 1,012個 = 28,336,000円
- (2)製品B 35,000円/個 × 1,215個 = 42,525,000円

2. 当月売上原価

他の棚卸資産同様、払出単価の計算は先入先出法によっている。

(1)製品A

		製品A		
	月初有高	当月売上原価		
124,480円	8個	1,012個	15,742,704円	
	当月完成品	月末有高		
15,711,560円	1,010個	6個	93,336円	
15,836,040円			15,836,040円	

①当月完成品単価 15,711,560円 ÷ 1,010個 = 15,556円/個

②月末有高 15,556円/個 × 6個 = 93,336円

③当月売上原価 124,480円 + 15,556円/個 × 1,004個 = 15,742,704円

(2)製品B…製品Aと同様に算定する。

		製品B		
	月初有高	当月売上原価		
274,500円	15個	1,215個	22,220,100円	
	当月完成品	月末有高		
22,165,056円	1,212個	12個	219,456円	
22,439,556円			22,439,556円	

3. 売上総利益

- (1)製品A 28,336,000円 - 15,742,704円 = 12,593,296円
- (2)製品B 42,525,000円 - 22,220,100円 = 20,304,900円